



キャンピー用を6器導入した共栄海運中里SS

施設リニューアルに合わせて現在、LED照明を導入するケースが全国のSSで相次いでいる。共栄海運中里SS（昭シ系 千葉県木更津市）は、キャンピー工事にともないエバークリオン（本社東京都千代田区）が提案するLED照明を導入し、五月末にリニューアルオープンした。同SSの金澤店之所長は、四方に光が広がり、天井面全体を明るくする製品の特徴を評価し「SSの見た目のイメージがかなり変わった」と話す。

ワイド配光のLED照明

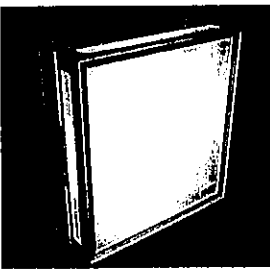
エバークリオン提案品を導入

夜間視認性が大幅向上

共栄海運中里SS

同SSはキャンピーのLED照明「V-LIN2 差別化リニューアル」4SPG。全国に取引先が広がったが、以先をもつエバークリオン前に加担でメタハラのが、S波路の拡大に向水銀灯に交換した際、避けて同社とタッグを組んくからの礼儀性不安の提案中。LEDランプ声が出た後があり、社メーカーの日本化学工業内で検討課題になった。製を使用して「安心以前から産処理を付きの同製品、事業開始後5合のあったエバークリオンでノックレームエバークリオンにLED投入を打、リ、リニューアルに合ウリだ。

は遠くからも視認性が非常に高い」と評価。また「建物自体は古いSSだが、LED照明で来店客の受けるイメージはかなり良い方向に変わったはず」と話す。エバークリオンは「ワイド配光を実現したサイドウィンドウにより、灯具の配光の自由度が高いのが特徴。LEDは光の強い目がハッキリしており、境目の外では遠端に暗く感じるもの。配光の自由度の高さは、ドライバー目線を使いやすい照明構成などにつながる」と話す。SSからの設備後の細かな要望にも応える、アフターフォロー態勢を強調している。



サイドウィンドウが特徴のLED照明

同製品の大きな特徴は、四方の「サイドウィンドウ」にもLEDを配したキャンピー用。キャンピー用には適化されている。中里SSの金澤所長も「横方向の光がキャンピー下部を照らし、天井面全体が明るくなる。夜間に

エバークリオンは「ワイド配光を実現したサイドウィンドウにより、灯具の配光の自由度が高いのが特徴。LEDは光の強い目がハッキリしており、境目の外では遠端に暗く感じるもの。配光の自由度の高さは、ドライバー目線を使いやすい照明構成などにつながる」と話す。